

藤井寺市 市民病院跡地活用アンケート結果報告

アンケート調査について①

1 調査の目的

市民病院跡地の活用方策の検討を始めるにあたり、市民等みなさまの意向を調査するため、検討の方向性についてのご意見をいただくことを目的としてアンケートを実施しました。

2 実施内容

対象	市民（在住・在勤・在学）ほか
実施方法	・オンライン窓口システムによるWebアンケート ・公共施設および道明寺周辺郵便局に設置した紙アンケート
実施期間	令和6年6月1日（土）～6月21日（金）

【紙アンケート及び回収ボックス設置箇所】

- | | | |
|-----------------|---------|-----------------|
| ①市役所 1 階（総合案内前） | ②市民総合会館 | ③ふれあいセンター（福社会館） |
| ④市民総合体育館 | ⑤図書館 | ⑥保健センター 1 階 |
| ⑦アイセルシュラホール 1 階 | ⑧松水苑 | ⑨道明寺南郵便局 |
| ⑩沢田郵便局 | ⑪北条郵便局 | |

アンケート調査について②

3 調査項目

設問	項目	内容
Q1	回答者属性	藤井寺市在住・在勤・在学の別
Q2		性別
Q3		年代
Q4		家族構成
Q5		お住まい
Q6	市民病院跡地について	市民病院が廃院したことはご存じですか。
Q7		市民病院跡地の活用方策の検討に関心がありますか。
Q8	市民病院跡地活用における留意点について	跡地活用の検討にあたって、どのようなことに留意すべきと考えますか。（3つまで回答）
Q9	市民病院跡地活用における方向性について	跡地利用について、どのようなビジョン（方向性）での利用が望ましいと考えますか。（3つまで回答）
Q10	ワークショップ等への参加意向について	今後ワークショップ等を開催する場合、参加したいですか。

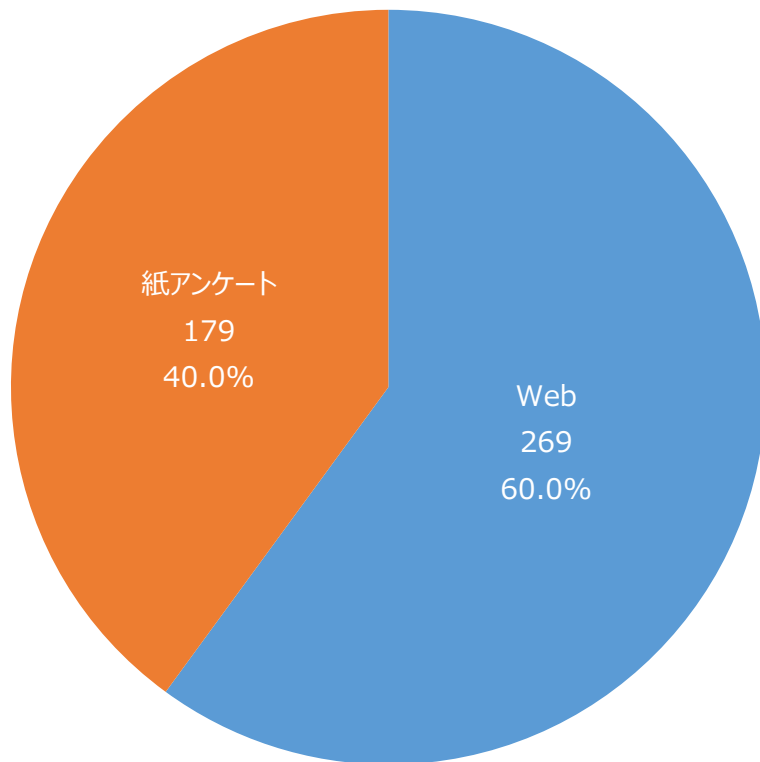
4 留意事項

- ・グラフに表記の「n=○」は、対象の母数を表します。
- ・選択肢の文章が長い場合、簡略化した表現を使用し、調査票の文章と一致しない場合があります。

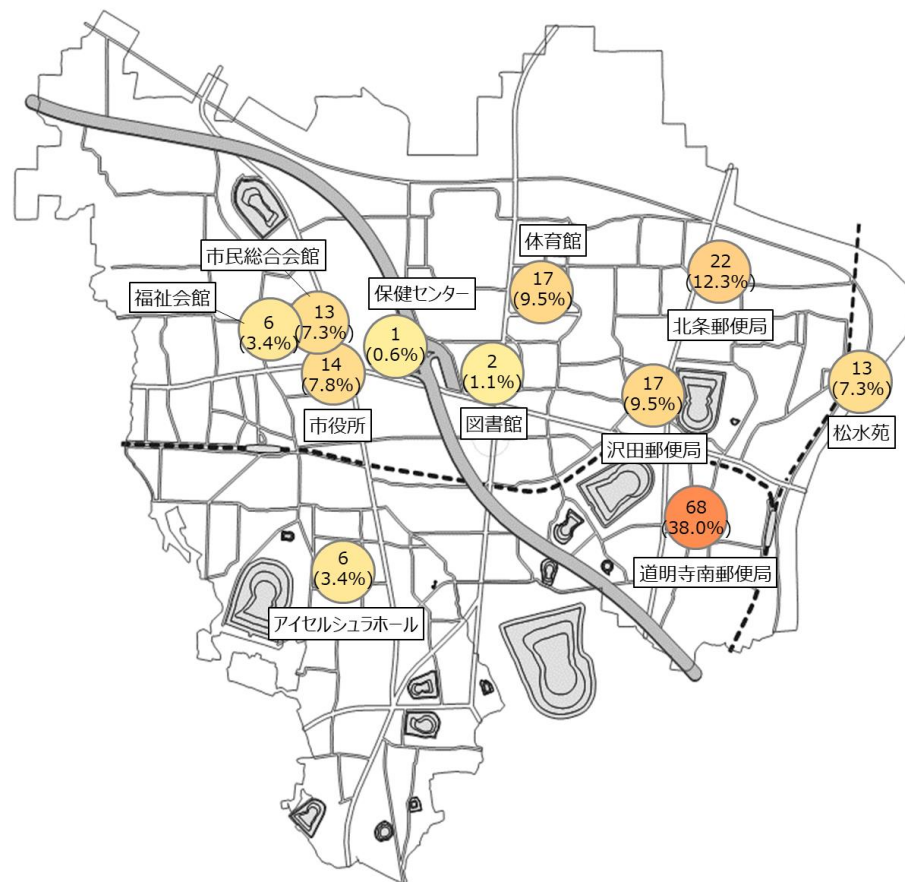
回答数

Web／紙アンケートの割合

全回答数 448件



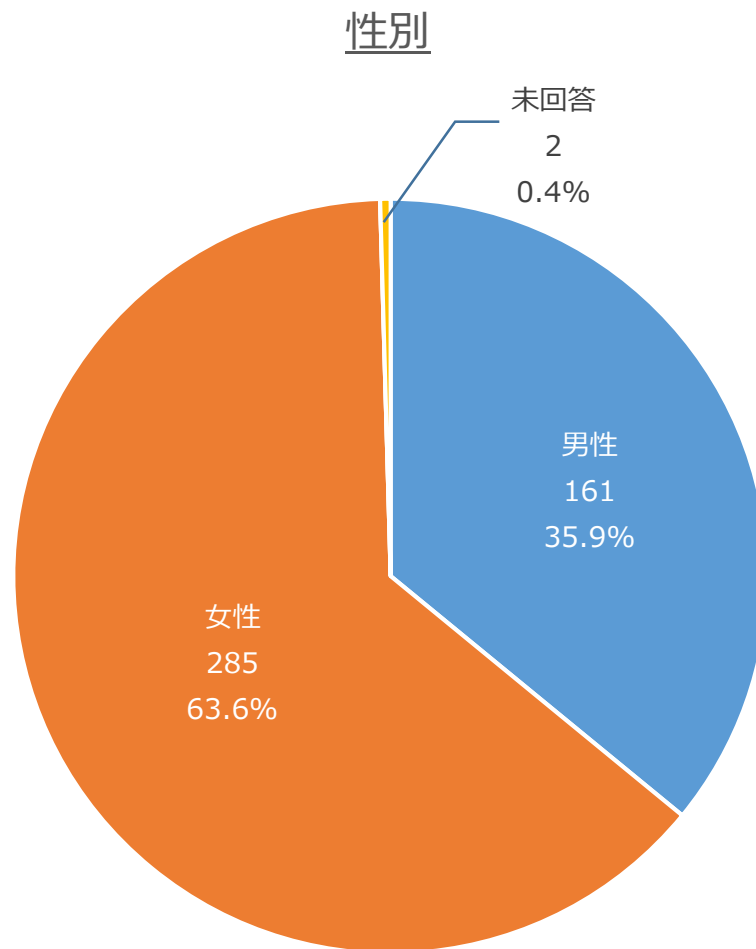
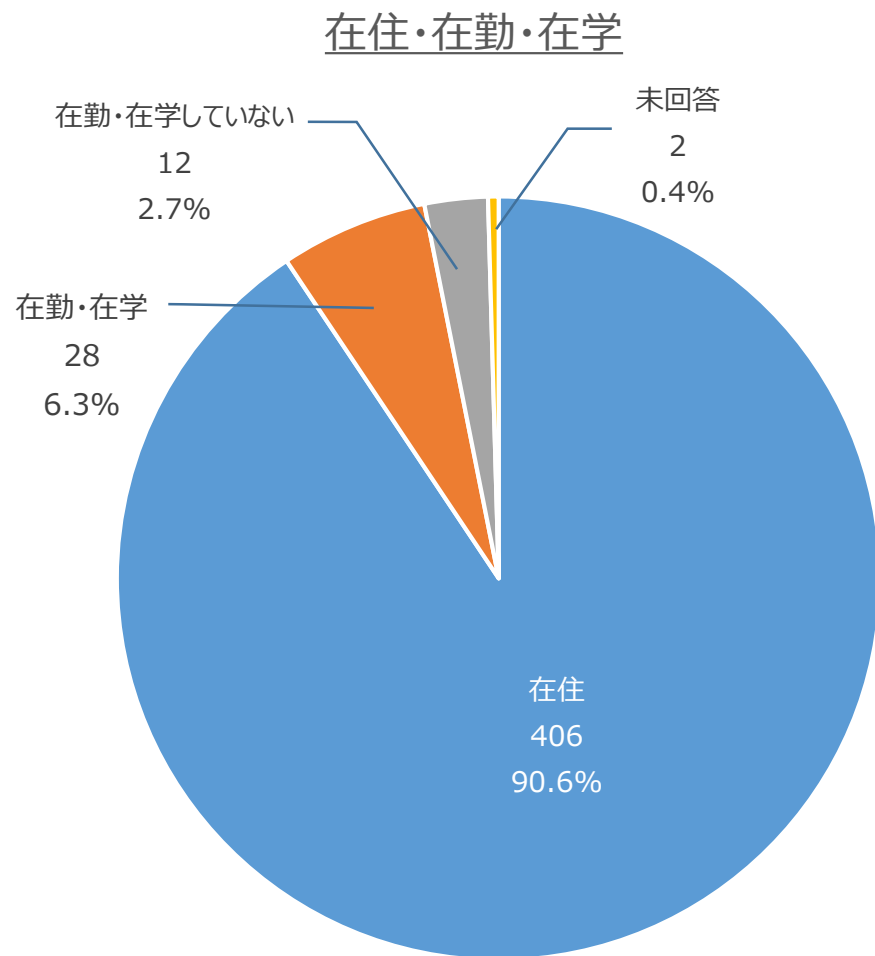
紙アンケート（回収ボックス） 設置場所別回答数



Web／紙アンケート併せて448件の回答がありました。

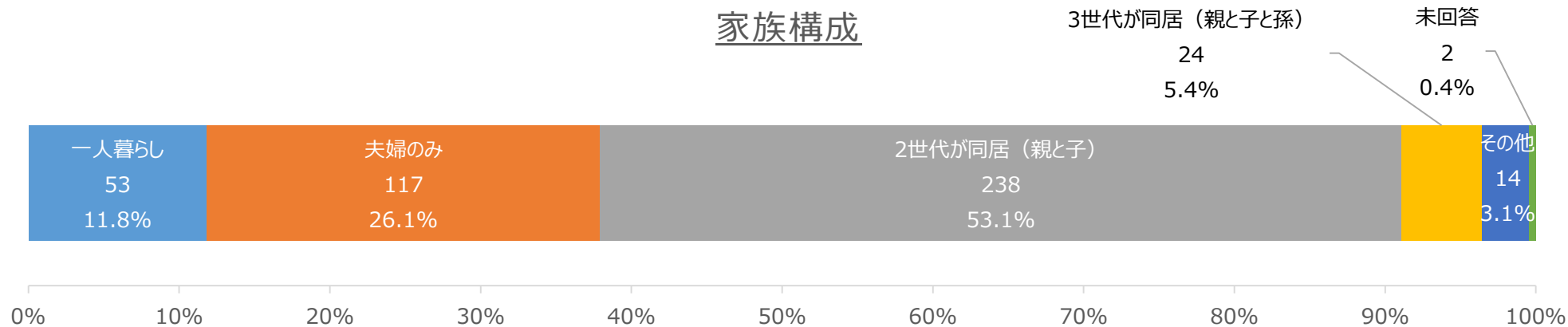
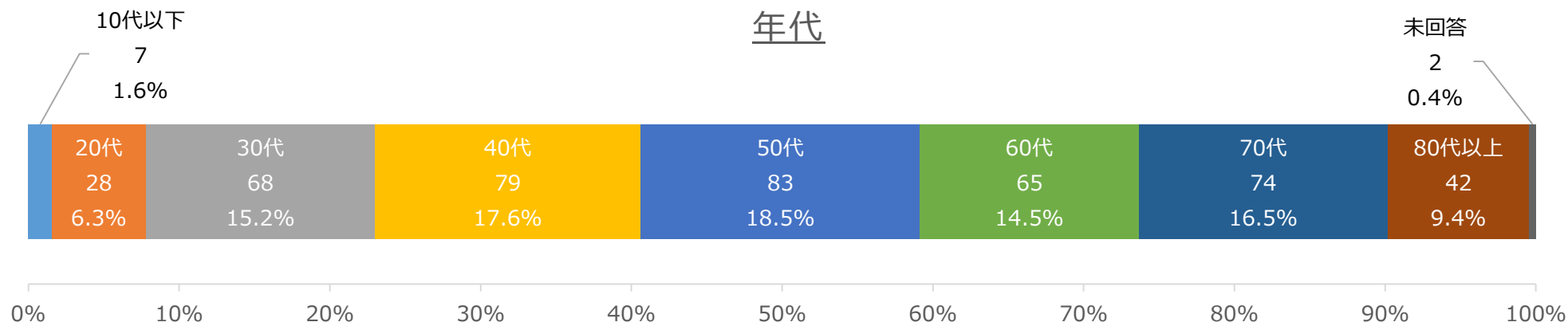
全体の6割がWebアンケートによる回答で、紙アンケートは東側地区を中心に計179件の回答があり、そのうち、道明寺南郵便局での回答が最多でした。

回答者属性①



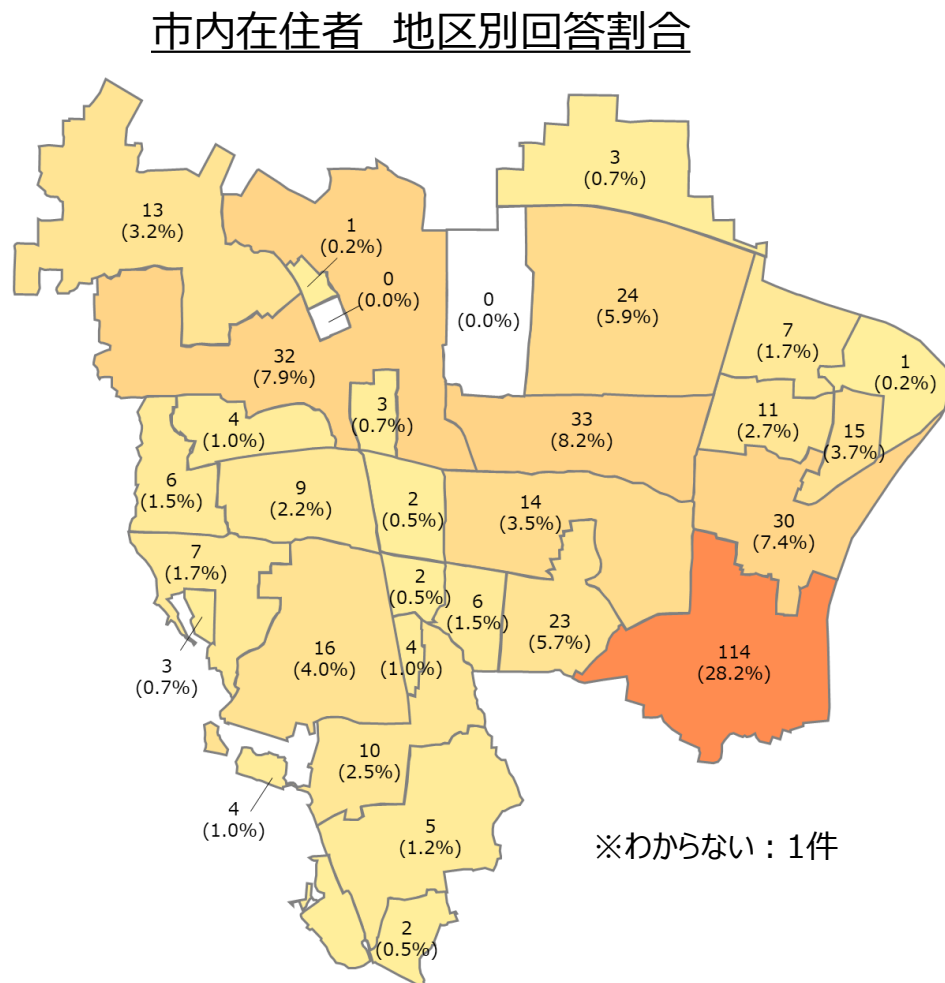
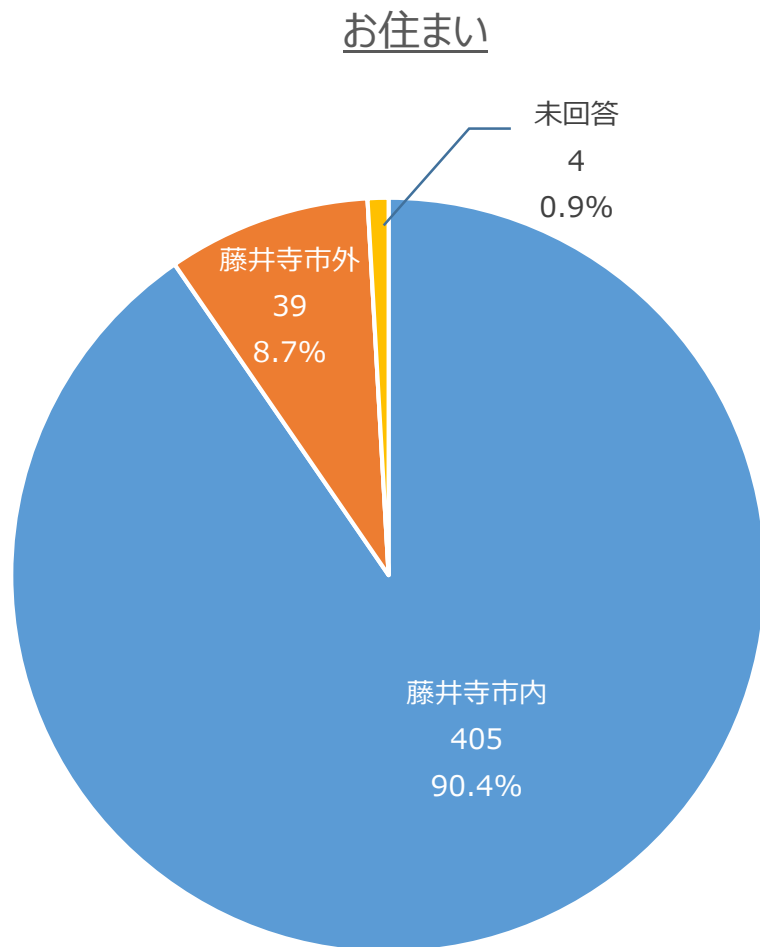
- ・市内在住者の回答が9割を占め、在勤・在学者、それ以外の方からも回答いただきました。
- ・全体の約3分の2が女性からの回答でした。

回答者属性②



- ・50代からの回答が18.5%と最も多く、主に30～70代の幅広い年代からの回答をいただきました。
- ・「2世代が同居（親と子）」が半数を占め、次いで「夫婦のみ」、「一人暮らし」となりました。

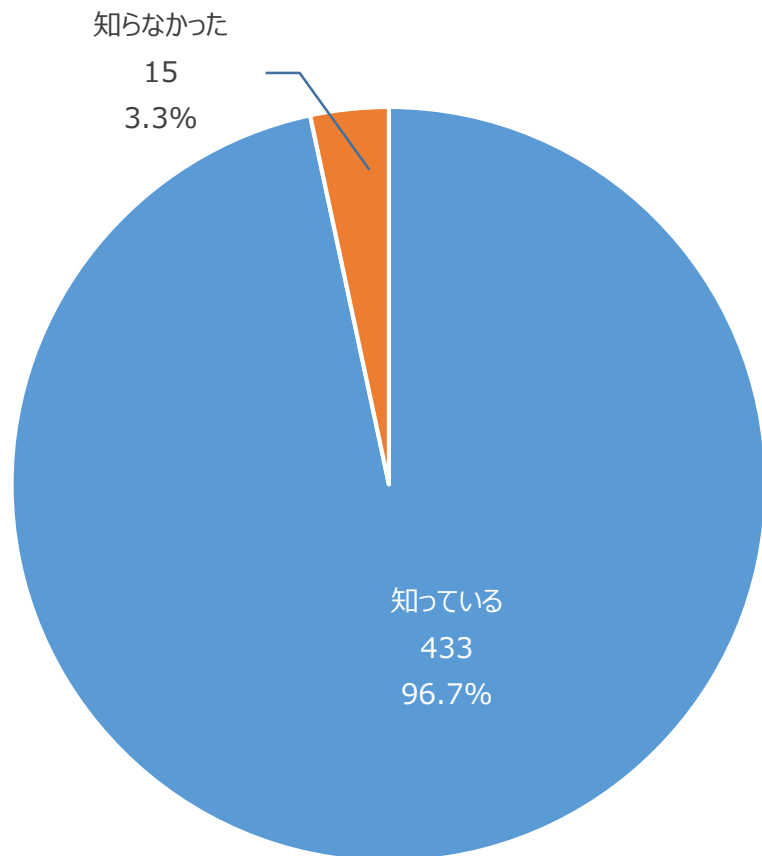
回答者属性③



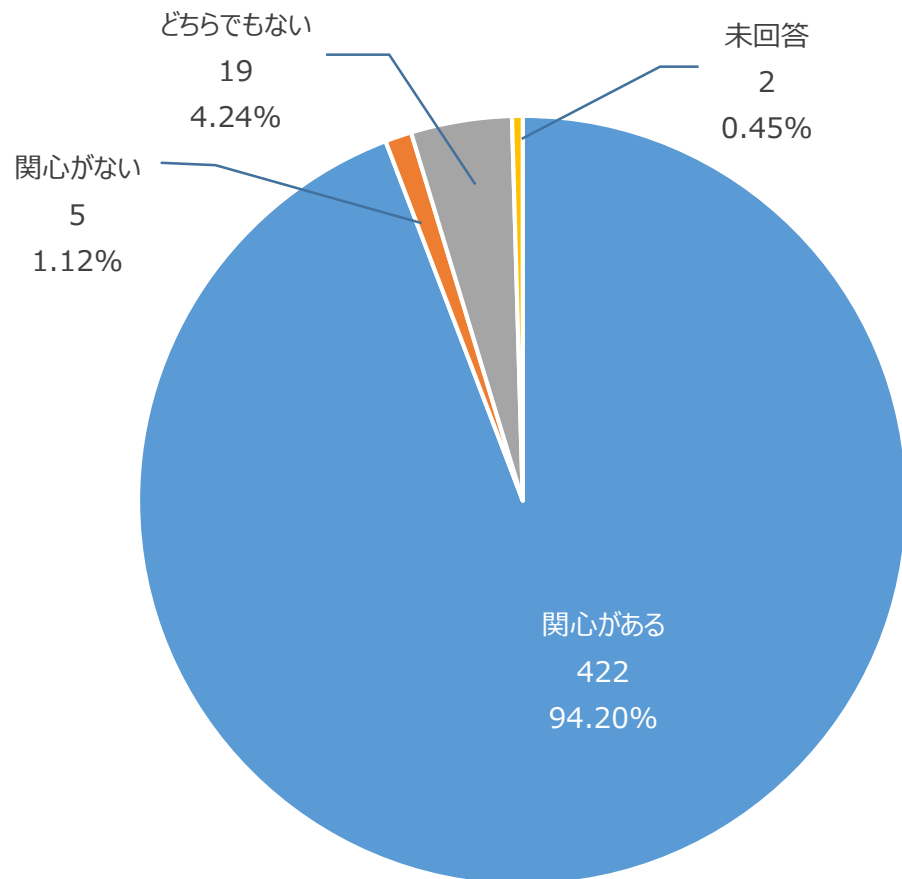
藤井寺市内在住と回答された方のうち、市民病院跡地のある道明寺地区の方から最も多くの回答をいただきました。回答数が少数の地域はあるものの、市域全体から広く回答をいただきました。

市民病院跡地について

市民病院が廃院したことはご存じですか。



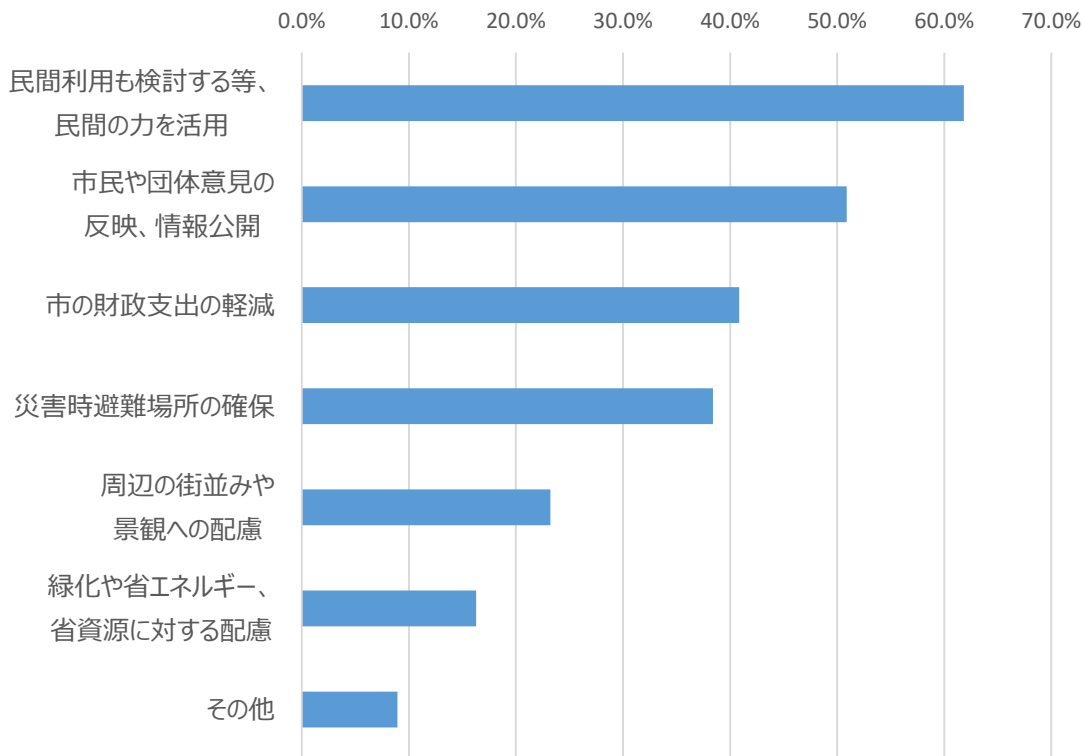
市民病院跡地の活用方策の検討関心がありますか。



全回答のうち、ほとんどが廃院について「知っている」と回答し、その後の活用方策の検討についてもほとんどが「関心がある」と回答されました。

市民病院跡地活用における留意点について

跡地活用の検討にあたって、どのようなことに留意すべきと考えますか。(3つまで回答：n=448)



＜その他の意見（要約・抜粋）＞

- 他市から子育て世代を取り込む環境や配慮が必要。
- 子供用品、子供服の購入が出来るお店や、子どもを連れて安価で食事が出来るお店、子どもの遊び場など、子どもにむけたお店が藤井寺にはあまり無い様に思う。
- 景観よりも賑わいを優先して欲しい。病院の廃院により、人が来なくなったので、集客出来るような施設、事業を展開してもらいたい。
- 若い世代の意見の反映。市でお金をかけず、民間の力をフルに活用してほしい。
- 道路で遊ぶ子どもが非常に多く、よくトラブルや事故になっている。
- 災害時の避難場所の拡充が必要。
- 市の財政状況が回復するような取り組みが必要。

全体では、「民間活力の利用」が最多で6割を超える方が選択しており、次いで「市民や団体意見の反映、情報公開」が5割強、「財政支出の軽減」が4割強、「避難場所の確保」が4割弱となっています。

その他の意見については、廃院後の人の往来が少なくなった道明寺地区の賑わいを求める意見や、子どもや子育て世代のための環境整備についての意見が多くみられました。

市民病院跡地活用における留意点について（クロス集計①）

男女での比較

	市の財政支出の軽減	市民や団体意見の反映、情報公開	民間利用も検討する等、民間の力を活用	災害時避難場所の確保	周辺の街並みや景観への配慮	緑化や省エネルギー、省資源に対する配慮	その他
男性 (n=161)	46.6%	41.6%	58.4%	34.2%	28.0%	17.4%	9.9%
女性 (n=285)	37.5%	55.8%	63.9%	40.7%	20.4%	15.8%	8.4%

地区別による比較

	市の財政支出の軽減	市民や団体意見の反映、情報公開	民間利用も検討する等、民間の力を活用	災害時避難場所の確保	周辺の街並みや景観への配慮	緑化や省エネルギー、省資源に対する配慮	その他
北東地区 (n=147)	44.9%	46.3%	63.9%	32.0%	19.0%	21.1%	6.1%
北西地区 (n=70)	48.6%	54.3%	60.0%	45.7%	18.6%	17.1%	8.6%
南東地区 (n=128)	31.3%	53.9%	61.7%	46.1%	28.1%	10.9%	10.2%
南西地区 (n=59)	40.7%	59.3%	59.3%	39.0%	22.0%	18.6%	11.9%

男女比較では、女性のほうが「市民や団体意見の反映、情報公開」、「民間活力の利用」、「避難場所の確保」が男性を上回り、男性では、「財政支出の軽減」、「街並みや景観」が女性を上回る結果になりました。

地区別比較では、各地区での大きな傾向差はないものの、市民病院跡地のある南東地区においては、「財政支出の軽減」が他の地区よりも低く、「避難場所の確保」、「街並みや景観」がわずかながら他の地区を上回っています。

市民病院跡地活用における留意点について（クロス集計②）

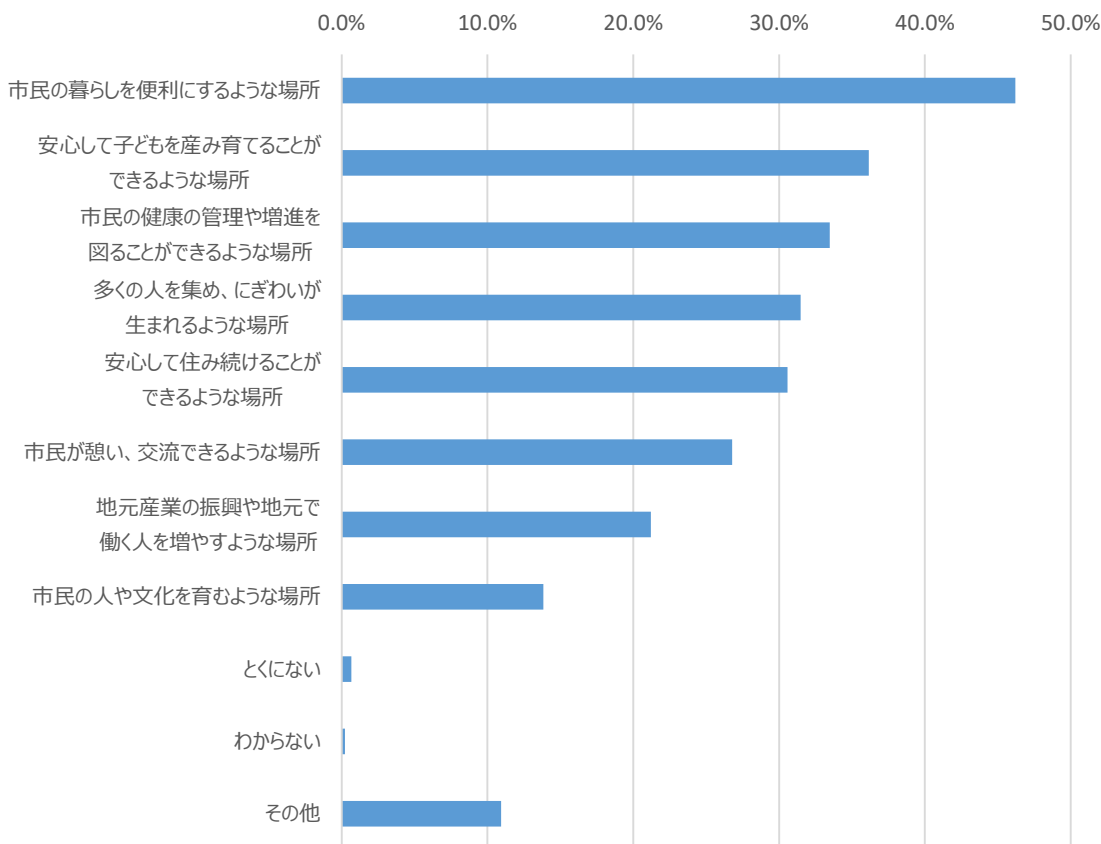
全世代・年代別による比較

	市の財政支出の軽減	市民や団体意見の反映、情報公開	民間利用も検討する等、民間の力を活用	災害時避難場所の確保	周辺の街並みや景観への配慮	緑化や省エネルギー、省資源に対する配慮	その他
全年齢 (n=448)	40.8%	50.9%	61.8%	38.4%	23.2%	16.3%	8.9%
10代以下 (n=7)	0.0%	57.1%	57.1%	14.3%	42.9%	57.1%	0.0%
20代 (n=28)	46.4%	50.0%	64.3%	50.0%	21.4%	10.7%	10.7%
30代 (n=68)	47.1%	51.5%	69.1%	29.4%	20.6%	13.2%	14.7%
40代 (n=79)	45.6%	45.6%	77.2%	32.9%	24.1%	7.6%	5.1%
50代 (n=83)	48.2%	56.6%	68.7%	31.3%	26.5%	19.3%	7.2%
60代 (n=65)	38.5%	49.2%	49.2%	47.7%	23.1%	23.1%	7.7%
70代 (n=74)	28.4%	50.0%	48.6%	54.1%	25.7%	20.3%	9.5%
80代以上 (n=42)	35.7%	50.0%	50.0%	31.0%	11.9%	11.9%	11.9%

年代別に比較すると、ミドル世代（30～50代）では「民間活力の利用」が最も選択されており、60～70代においては「避難場所の確保」が他の世代に比べ高くなっています。他の年代と比べ回答の母数が少ないですが、20代は「避難場所の確保」、10代以下については「街並みや景観」、「緑化や省エネ、省資源」が他の世代よりも比較的高い結果となりました。

市民病院跡地活用における方向性について

跡地利用について、どのようなビジョン（方向性）での利用が望ましいと考えますか。（3つまで回答：n=448）



＜その他の意見（要約・抜粋）＞

- 道明寺地域に子育て世代が歩いて利用できる公園や児童館が極端に少ないので増やしてほしい。
- 現役世代や子育て世帯が長期的に活用できるようにしてほしい。
- 介護施設、老人ホーム、保育園や公園などと、それに隣接したスーパー、飲食街、カフェなどで集客を図る。
- 藤井寺市の財政に貢献するような収益性のあるビジネス。道明寺の歴史的背景や周辺環境への配慮を行うことを前提として、民間から広く意見を募るべき。
- 石川や大和川氾濫時の避難場所となる中高層建物を設置してほしい。現状の避難場所では収容人員が乏しく、新たな防災拠点機能を創設してほしい。
- 衣類や日用品が買える小さなショッピングモール。
- 民間に売却して有効利用してもらう。

全体では、「暮らしを便利にするような場所」が約46%と最も多く、次いで「安心して子どもを産み育てることができる場所」が約36%、「健康の管理や増進を図ることができるような場所」・「にぎわいが生まれるような場所」・「安心して住み続けることができるような場所」も3割を超える回答がありました。

その他の意見では、子ども・子育て世代・高齢者のための活用にかかる意見や、集客が図れる活用・防災機能の強化・民間企業による有効活用など、幅広く意見がありました。

市民病院跡地活用における方向性について（クロス集計①）

男女での比較

	多くの人を集め、にぎわいが生まれるような場所	市民の暮らしを便利にするような場所	安心して子どもを産み育てることができるような場所	市民が憩い、交流できるような場所	安心して住み続けることができるような場所	市民の人や文化を育むような場所	市民の健康管理や増進を図ることができるような場所	地元産業の振興や地元で働く人を増やすような場所	とくにない	わからない	その他
男性 (n=161)	36.0%	41.0%	32.9%	24.8%	26.1%	14.3%	28.6%	21.7%	1.2%	0.0%	13.7%
女性 (n=285)	28.8%	49.1%	37.5%	28.1%	32.6%	13.7%	36.5%	21.1%	0.4%	0.4%	9.5%

地区別による比較

	多くの人を集め、にぎわいが生まれるような場所	市民の暮らしを便利にするような場所	安心して子どもを産み育てることができるような場所	市民が憩い、交流できるような場所	安心して住み続けることができるような場所	市民の人や文化を育むような場所	市民の健康管理や増進を図ることができるような場所	地元産業の振興や地元で働く人を増やすような場所	とくにない	わからない	その他
北東地区 (n=147)	36.7%	53.7%	24.5%	27.9%	23.8%	12.9%	31.3%	23.1%	0.0%	0.0%	8.8%
北西地区 (n=70)	31.4%	32.9%	38.6%	25.7%	25.7%	15.7%	42.9%	25.7%	0.0%	0.0%	7.1%
南東地区 (n=128)	22.7%	46.1%	47.7%	26.6%	41.4%	11.7%	39.1%	14.8%	0.8%	0.0%	14.8%
南西地区 (n=59)	33.9%	44.1%	42.4%	22.0%	30.5%	22.0%	27.1%	23.7%	3.4%	1.7%	8.5%

男女比較では、大きな傾向差はありませんでした。男女とも「暮らしを便利にするような場所」が最も選択されており、男性では次いで「にぎわいが生まれるような場所」、女性では「安心して子どもを産み育てることができる場所」が選択されています。

地区別比較では、北東・南西地区で「暮らしを便利にするような場所」が最も選択されており、北西地区では「健康管理・増進を図ることができるような場所」、南東地区では「安心して子どもを産み育てることができる場所」が最も選択されています。

市民病院跡地活用における方向性について（クロス集計②）

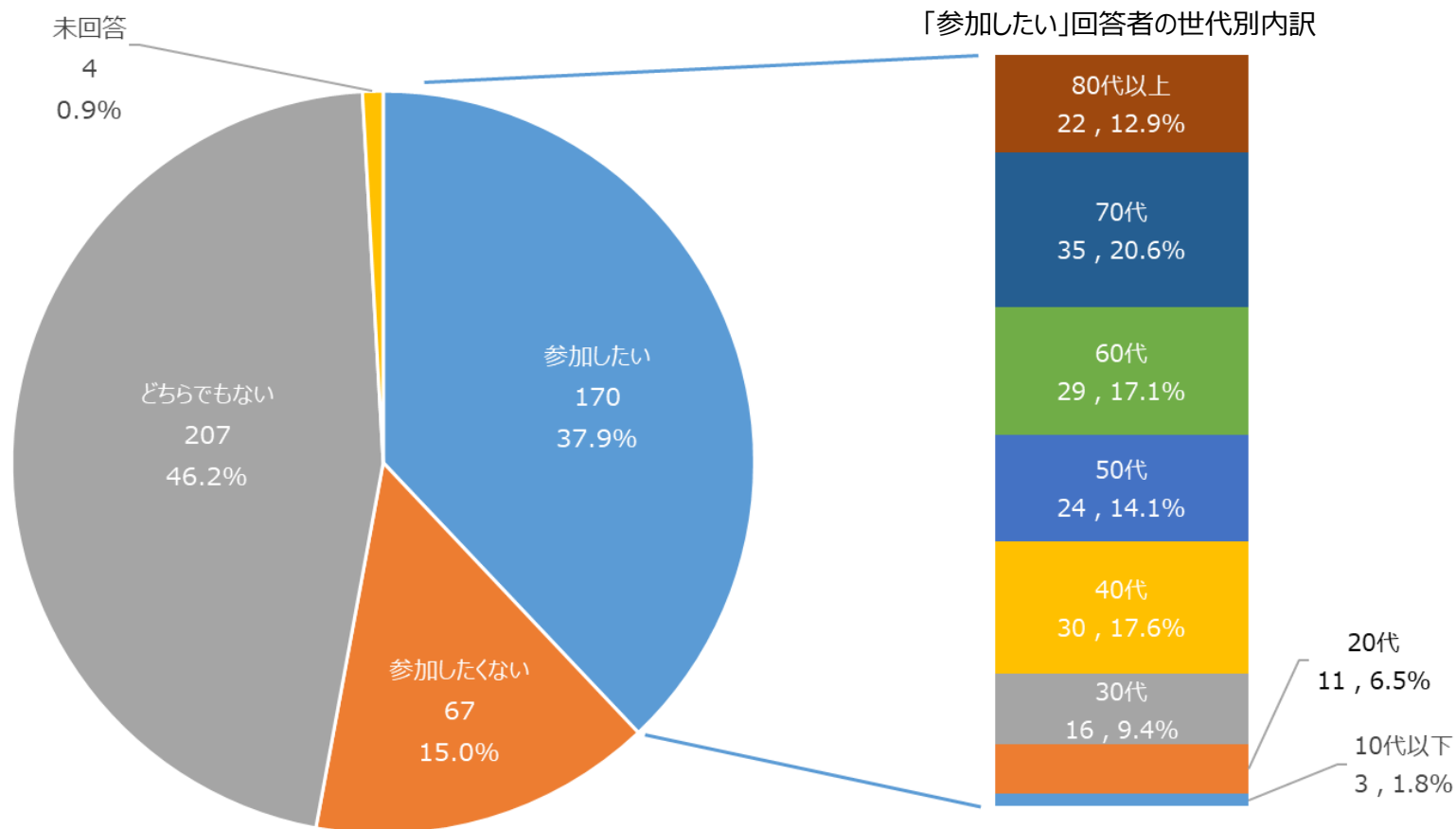
全世代・年代別による比較

	多くの人を集め、にぎわいが生まれるような場所	市民の暮らしを便利にするような場所	安心して子どもを産み育てることができるような場所	市民が憩い、交流できるような場所	安心して住み続けることができるような場所	市民の人や文化を育むような場所	市民の健康の管理や増進を図ることができるような場所	地元産業の振興や地元で働く人を増やすような場所	とくにない	わからない	その他
全年齢 (n=448)	31.5%	46.2%	36.2%	26.8%	30.6%	13.8%	33.5%	21.2%	0.7%	0.2%	10.9%
10代以下 (n=7)	57.1%	42.9%	42.9%	14.3%	28.6%	0.0%	28.6%	28.6%	0.0%	0.0%	0.0%
20代 (n=28)	42.9%	46.4%	64.3%	21.4%	21.4%	14.3%	14.3%	14.3%	0.0%	0.0%	10.7%
30代 (n=68)	36.8%	50.0%	64.7%	23.5%	19.1%	14.7%	17.6%	13.2%	0.0%	0.0%	11.8%
40代 (n=79)	41.8%	51.9%	36.7%	16.5%	26.6%	13.9%	32.9%	35.4%	0.0%	0.0%	7.6%
50代 (n=83)	32.5%	48.2%	30.1%	30.1%	32.5%	10.8%	37.3%	26.5%	0.0%	0.0%	9.6%
60代 (n=65)	20.0%	44.6%	32.3%	26.2%	46.2%	13.8%	30.8%	24.6%	0.0%	0.0%	18.5%
70代 (n=74)	25.7%	37.8%	16.2%	36.5%	32.4%	20.3%	45.9%	13.5%	4.1%	0.0%	9.5%
80代以上 (n=42)	16.7%	42.9%	19.0%	35.7%	28.6%	9.5%	50.0%	9.5%	0.0%	2.4%	11.9%

年代別に比較すると、20～30代では「安心して子どもを産み育てることができるような場所」が最も選択されています。60代は「安心して住み続けることができるような場所」を最も選択しており、70代・80代以上では「健康管理・増進を図ることができるような場所」が最も選択されています。

ワークショップ等への参加意向について

今後ワークショップ等を開催する場合、参加したいですか。



- ・「どちらでもない」が最も多く約46%、「参加したい」が約38%、「参加したくない」が約15%でした。
- ・「参加したい」と回答した方の約2割が70代で最も多く、次いで約17%の40代、60代、約14%の50代の順に多い結果となりました。